【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【公表番号】特表2001-524946(P2001-524946A)
【公表日】平成13年12月4日(2001.12.4)
【出願番号】特願平10-538631
【国際特許分類第７版】
　ＡＯ１Ｎ　59/06
　ＡＯ１Ｇ　13/00
　ＡＯ１Ｎ　25/12
【ＦＩ】
　ＡＯ１Ｎ　59/06　　　　Ｚ
　ＡＯ１Ｇ　13/00　　　　Ａ
　ＡＯ１Ｎ　25/12　　１０１

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月28日(2005.2.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成１７年２月２８日

特許庁長官 小川 洋 殿

１．事件の表示

平成１０年 特許願 第５３８６３１号

２．補正をする者

事件との関係 特許出願人

名称 エンゲルハード・コーポレーション

（ほか1名）

３．代 理 人

〒107-0052

住所 東京都港区赤坂１丁目９番１５号

日 本 自 転 車 会 館

氏名 (6078)弁理士 小田島 平 吉

電話 ３５８５－２２５６

特許庁 17.2.28 出願支援課 窓口

４．補正命令の日付 なし（自発）

５．補正の対象

「請求の範囲」

６．補正の内容

別紙のとおり

別紙

請求の範囲

１．　焼成カオリン、疎水性焼成カオリン、疎水性炭酸カルシウム、炭酸カルシウム及びそれらの混合物からなる群から選択される、１種類以上の粒状物質であって、微細な粒状物質を含んでなる、有効量のスラリーを表面に施用することを含んでなり、かつ、表面が果実、野菜、樹木、花、草、根、並びに造園用及び装飾用植物からなる群から選択され、そして施用した粒状物質が表面上で気体の交換を許す、ことを特徴とする節足動物の蔓延から前記表面の保護方法。

２．粒状物質が、粒子の９０％までが約１０ミクロン未満の粒度を有するような粒度分布を有する、請求項１記載の方法。

３．　前記の疎水性焼成カオリン及び疎水性炭酸カルシウムが、有機チタン酸塩、有機ジルコン酸塩又はアルミン酸塩のカプリング剤、有機官能性シラン、改質シリコーン液、並びに脂肪酸及びそれらの塩からなる群から選択される物質から調製された疎水性の外面を有する、請求項１記載の方法。

４．　表面が農業用及び装飾用収穫物からなる群から選択される園芸用収穫物である、請求項１記載の方法。

５．　園芸用収穫物が果実、野菜及び樹木からなる群から選択される、請求項４記載の方法。

６．　微細な粒状物質が約３ミクロン未満の個々の中間粒度を有する、請求項１記載の方法。

７．　スラリーが、さらに低沸点有機液体を含んでなる請求項1記載の方法。

８．　果実、野菜、樹木、花、草、根、並びに造園用及び装飾用植

物からなる群から選択される園芸用収穫物の表面に、水並びに、炭酸カルシウム、焼成カオリン、及びそれらの混合物からなる群から選択される１種類以上の粒状物質であって、約１ミクロン以下の個々の中間粒度を有する粒状物質を含んでなる、有効量のスラリーを、スラリーを乾燥させながら、施用することを含んでなり、そして施用された前記の粒子が前記の収穫物の表面上で気体の交換を許す、ことを特徴とする節足動物の蔓延から園芸用収穫物の保護方法。

９．　微細な粒状物質が前記園芸用収穫物の成長季節期間中に１回以上施用される、請求項１または８記載の方法。

１０．　スラリーが、さらに低沸点有機液体を含んでなる請求項８記載の方法。